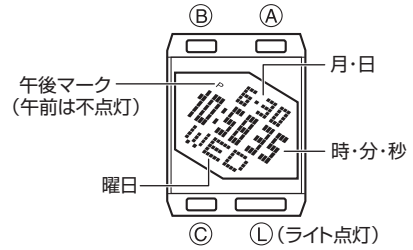
Operation Guide FS(DIG) 2090/2190/2191 CASIO

操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わります。
※ 表示は機種により異なる場合があります。
※ 表示例は、モジュール 2090 を使用しています。（モジュール番号は本体裏面に刻印されています）

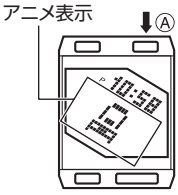
時刻モード



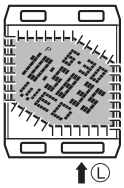
曜日の見方

SUN	日
MON	月
TUE	火
WED	水
THU	木
FRI	金
SAT	土

★表示切り替え
モジュールNo.2090と2190は時刻モードでⒶボタンを押すごとに、時刻・カレンダー表示と時刻・アニメ表示が切り替わります。

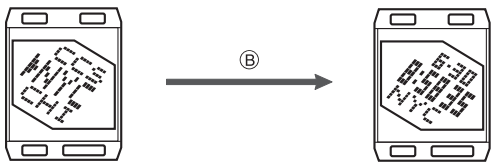


★ライト点灯について
どのモードでもⓁボタンを押すと文字板が約1.5秒間発光します。

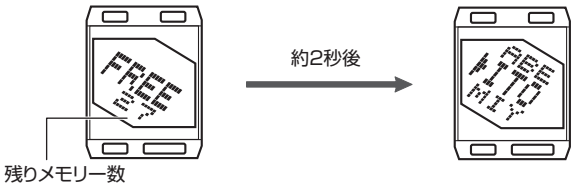


＜ご注意＞
- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にいずれかのボタンを押すと、発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のために時計内部の EL パネルが振動するときの音で、異常ではありません。

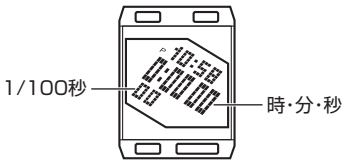
ワールドタイムモード



テレメモモード



ストップウオッチモード



時刻・カレンダーの合わせ方

時刻モードで行ないます。

※「時」のセットのとき、午前／午後（P）、24時間制（24）にご注意ください。

※ カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

※ 年は西暦で 1995 ～ 2039年までセットできます。

※ 曜日は年月日を合わせると自動的にセットされます。

※ 時刻・カレンダーのセットで点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

●秒合わせ

月に1度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

1. セット状態にする

Ⓑ ボタンを約２秒間押します

➡「秒」が点滅します。

2. 秒合わせをする

Ⓐ ボタンを押します

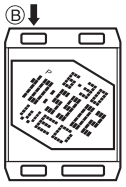
➡ 00 ～ 29 秒のとき：
切り捨てられる
30 ～ 59 秒のとき：
1 分繰り上がる

※ 時報は「時報サービス 117 番」が便利です。

3. 秒合わせを終了する

Ⓑ ボタンを押します

➡ 点滅が止まります。



★都市選択

ワールドタイム機能で表示される各都市の時刻を決めるための基準都市を選択します。
基準都市を選択すると、その他の都市は時差計算されて表示されます。
※ ワールドタイムの都市については、「ワールドタイム都市コード一覧」をご覧ください。

★12／24 時間制表示

12 時間制表示とは 1 日を午前／午後に分けてあらわす表示方法で、24 時間制表示とは 1 日を 24 時間としてあらわす表示方法です。

●時刻・カレンダーのセット

電池交換後などで時刻・カレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットしてください。

1. セット状態にする

Ⓑ ボタンを約２秒間押します

➡「秒」が点滅します。

2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

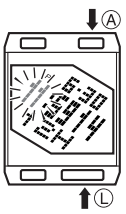
➡ Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が「秒」➡「DSTのON/OFF」➡「都市選択」➡「時」➡「分」➡「12／24時間制切り替え」➡「年」➡「月」➡「日」➡「秒」…の順に移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

3. 点滅箇所をセットする

Ⓐ または Ⓛ ボタンを押します

➡「DSTのON/OFF」と「12／24時間制切り替え」はⒶボタンを押すごとに切り替わります。
「都市選択」、「時」、「分」、「年」、「月」、「日」はⒶボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに１つずつ戻ります。

※ 押し続けると早送りができます。



Ⓒボタンでセットしたい箇所を選び、Ⓐ または Ⓛ ボタンで表示をセットする操作を繰り返します。

4. セットを終了する

Ⓑ ボタンを押します

➡ 点滅が止まります。

テレメモの使い方

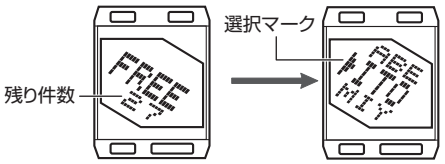
Ⓒ ボタンを押して、テレメモモードで行ないます。

- テレメモは名前８文字、電話番号14桁を最大30件メモリーできます。
- メモリーしたデータは、名前順に並び替わります。

※ 並び替えは、名前の先頭から比較して空白、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、ー、.、／、:、' の順です。

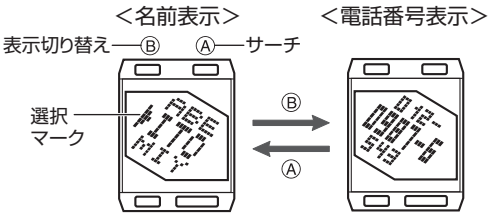
※ テレメモのセットで点滅表示のまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

テレメモモードに切り替えると、テレメモの残り件数を表示後、前回最後に見た名前が選択されます。



●名前のサーチ

Ⓐ ボタンを押すごとに名前が１つずつ進みます。
※ 押し続けると早送りできます。
名前が３文字を越えるときは、右から左に流れるスクロール表示となります。



●データのクリアー

1. クリアーしたいデータを探す

Ⓐ ボタンを押します

2. セット状態にする

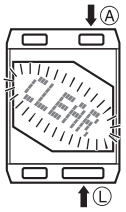
Ⓑ ボタンを約２秒間押します

➡ 名前部１桁目が点滅します。

3. クリアーする

Ⓐ ボタンを押しながら
Ⓛ ボタンを同時に押します

➡ “CLEAR” と点滅表示後、データがクリアーされます。
※ クリアー後は新たなデータを入力できます。



4. 終了する

Ⓑ ボタンを押します

※ テレメモのクリアーで点滅表示のまま２～３分すると、自動的に点滅が止まります。

●データの入力（修正）

1. 空ページまたは修正したいデータを探す

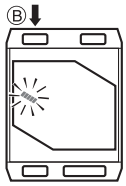
Ⓐ ボタンを押します

➡ データがすでに30件メモリーされている場合は、空ページが表示されません。不要なデータをクリアーしてください。
例）新規入力の場合

2. セット状態にする

Ⓑ ボタンを約２秒間押します

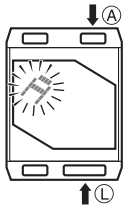
➡ 名前部１桁目が点滅します。



3. 名前を入力する

Ⓐ または Ⓛ ボタンを押します

➡ Ⓐ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字が１つずつ進み、Ⓛ ボタンを押すごとに１つずつ戻ります。
※ 押し続けると早送りができます。



4. 入力箇所を移動する

Ⓒ ボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が１つずつ右に移動します。
※ 押し続けると早送りができます。

Ⓒ ボタンでセットしたい箇所を選び、Ⓐ または Ⓛ ボタンで表示をセットする操作を繰り返します。
入力文字＝空白、A～Z、0～9、ー、.、／、:、'

5. 電話番号入力に移動する

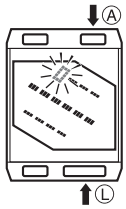
Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押して電話番号部の１桁目を点滅させます。
※ 押し続けると早送りができます。

6. 電話番号を入力する

Ⓐ または Ⓛ ボタンを押します

➡ Ⓐ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字が１つずつ進み、Ⓛ ボタンを押すごとに１つずつ戻ります。
※ 押し続けると早送りができます。



7. 入力箇所を移動する

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が１つずつ右に移動します。
※ 押し続けると早送りができます。

Ⓒ ボタンでセットしたい箇所を選び、Ⓐ または Ⓛ ボタンで表示をセットする操作を繰り返します。
入力文字＝ー、０～９、空白

8. 終了する

Ⓑ ボタンを押します

➡〈新規入力の場合〉
メモリー件数が30件未満のときは、空ページ表示となり、続けて新規入力ができます。
入力を終了するときは、もう一度Ⓑ ボタンを押します。
〈修正の場合〉
点滅が止まります。
※ テレメモの入力や修正で点滅表示のまま２～３分すると、自動的に点滅が止まります。

新規入力やデータ内容を修正した場合は、名前順に並び替える「ソート表示」となります。

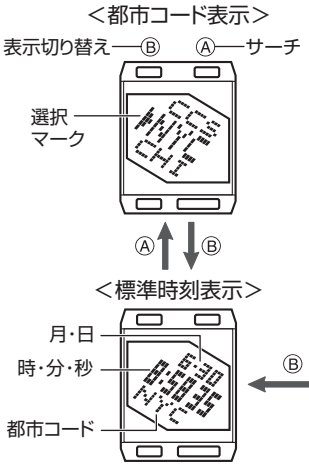
ワールドタイムの使い方

Ⓒ ボタンを押して、ワールドタイムモードで行ないます。

- 世界30都市（29タイムゾーン）の時刻を知ることができます。
- ワールドタイムモードに切り替えると、前回見た都市が選択されます。
- ワールドタイムの「秒」は現在時刻に連動しています。

※ 時刻モードの現在時刻を24時間制表示にしているときは、ワールドタイムの時刻も24時間制表示になります。

●都市のサーチ



Ⓐ ボタンを押すごとに都市コードが1つずつ進みます。

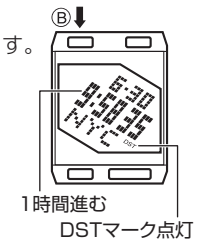
※ 押し続けると早送りできます。

●サマータイムの設定／解除

サマータイムは各都市ごとに設定できます。

Ⓑ ボタンを1～2秒間押します

※ サマータイムを解除するには、もう一度Ⓑボタンを1～2秒間押します。



★サマータイムについて

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は各都市により異なりますし、採用していない都市もありますのでご注意ください。

時刻・カレンダーについて

ワールドタイムは時刻モードでセットされている都市の時差に連動しています。
もし、ワールドタイムの時刻が合っていないときは、時刻モードの時刻および都市選択を正しく合わせてください。

●ワールドタイム都市コード一覧

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
–––	–––	−11	パゴパゴ
HNL	ホノルル	−10	パペーテ
ANC	アンカレジ	−9	ノーム
LAX	ロサンゼルス	−8	サンフランシスコ、ラスベガス、シアトル
DEN	デンバー	−7	エルパソ、エドモントン
CHI	シカゴ	−6	ヒューストン、メキシコシティ、ダラス
NYC	ニューヨーク	−5	モントリオール、マイアミ、ボストン
CCS	カラカス	−4	サンティアゴ
RIO	リオデジャネイロ	−3	サンパウロ、ブエノスアイレス
–––	–––	−2	
–––	–––	−1	アゾレス諸島
GMT		±0	〈グリニッジ標準時〉
LON	ロンドン	±0	ダブリン
PAR	パリ	+1	ローマ、マドリード、フランクフルト
CAI JRS	カイロ エルサレム	+2	アテネ、ヘルシンキ、ベイルート
JED	ジェッダ	+3	クウェート
THR	テヘラン	+3.5	
DXB	ドバイ	+4	アブダビ
KBL	カブール	+4.5	
KHI	カラチ	+5	
DEL	デリー	+5.5	
DAC	ダッカ	+6	
RGN	ヤンゴン	+6.5	
BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
HKG	香港	+8	シンガポール、クアラルンプール、北京、台北、マニラ
TYO	東京	+9	ソウル、平壌
ADL	アデレード	+9.5	
SYD	シドニー	+10	グアム
NOU	ヌーメア	+11	ポートビラ
WLG	ウェリントン	+12	クライストチャーチ

※ この表は1998年6月現在作成のものです。
※ 時差はグリニッジ標準時（世界協定時：UTC）を基準としたものです。

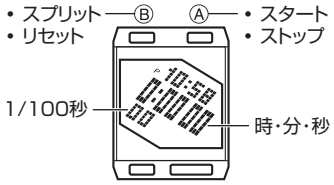
ストップウオッチの使い方

Ⓒ ボタンを押して、ストップウオッチモードで行ないます。

- ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。
- 計測時間を超えると自動的に“0”に戻って計測を続けます。

- Ⓐ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
- 計測終了後にⒷ ボタンを押すと、0時間00分00秒00（リセット表示）になります。
- 計測中にⒷボタンを押すと、表示は止まりますが内部では計測を続けるスプリット計測となります。

※ スプリット計測を解除するには、もう一度Ⓑボタンを押します。



●通常の計測

Ⓐ スタート → Ⓐ ストップ → Ⓑ リセット

積算計測…
ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずにⒶボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●スプリットタイム計測

Ⓐ スタート → Ⓑ スプリット計測 → Ⓑ スプリット解除 → Ⓐ ストップ → Ⓑ リセット

●1着・2着同時計測

Ⓐ スタート → Ⓑ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓐ 2着ゴール → Ⓑ 2着タイム表示 → Ⓑ リセット